

# センターだより

第91号  
2025.01.01

## 年頭のご挨拶

代表理事組合長

松田 登貴也



新年明けましておめでとうございませう。皆様方には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

我が国経済の動向につきましては、新型コロナウイルスに起因する行動制限の解除により経済活動の正常化が進むとともに、雇用や所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかに回復するも、物価の高騰で大変厳しい年でありました。

花き植木業界においては、食料品を中心とした生活必需品等の物価上昇による消費者の節約志向の高まりから、花きの販売低迷が浮き彫りとなる結果となりました。このような状況の中、当組合は、

- ・消費志向の変化に対応すべく商品展開を見直すとともに、良品集荷の確保に努める。
- ・積極的に商品の提案を行い、相對部門の売り上げ増を図る。
- ・市場業務の更なる効率化を行い、利益体質の強化につなげていく。
- ・WEB販売を更に推進するとともに先取り販売の強化に取組み、セリにおける有利販売を目指す。
- ・買参人対策の強化に努める。

以上について取組みを進めています。

次に、花きの消費啓発につきましては、4月8日の東大寺「花まつり」に（一社）日本花き生産協会のご協力のもと、全国より約6,000本の花を提供いただき、奈良県フラワー裝飾技能士会に創作協力をいただき、献花させて頂きました。

また10月に橿原神宮において「第16回大和路花と緑のフェスティバル」を県及び関係団体と共催で開催し、「プチガールディング&フラワーデザインコンテスト」や、児童などを対象とした「花といっしょに遊ぼう」（花育教室）を行いました。

最後になりましたが、組合員皆様方の変わらぬご指導ご協力をお願い申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 就任の挨拶

専務理事

吉川 隆憲

奈良県唯一の花き卸売市場として、花き植木の生産者の為、小売店、造園業者の皆さまのお役に立てるよう努力しております。

その事が一般消費者を通して、県内外の緑化や花文化の振興に役立てる事を目指しております。近年、気候の温暖化や災害の多発など生産者を悩ませる事で生産性の鈍化を誘発し対策を急がれております。

更に2024年問題と言われる流通機構の改革による整備が各市場の現状を変える事を余儀なくされております。

当組合もその二点に限らず、雇用問題、終業問題についても改善を求める声があります。

新時代に向って問題が山積される中、これからもより良い利用しやすい市場となるよう日々研鑽を重ねてまいります。

また、令和9年に奈良県内で開催されます第77回全国植樹祭においても当組合で担える事に最大の努力を致してまいります。

令和7年の念頭に当たり、関係各位の皆さま方に「ご挨拶を申し上げ、皆様方にとっても幸多き年でありますようにご祈念致します」ともご理解とご協力、そして今後益々のお引き立てを下さいます様お願い申し上げます。

## 鉢花情報

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当組合への御力添えに御礼申し上げます。

暖冬を味方にと期待し迎えた2024年。しかし、円安による燃料や食料品などの物価高をはじめ、新型NISAなどへの投資も家計に加わり、園芸部門の販売におきましては追い風になり得ませんでした。さらには極端な天候・物流問題や人手不足等も相まって、生産・販売市場も同様、取り巻く環境への変化に対応が難しくなっております。

このような中、各地のフェスやマルシェ等では出展者が来場者との対面販売を楽しむ光景を垣間見ました。出展者によるSNSでの事前情報提供が沢山の来場者を引き、裾野の広い販売に繋がっているのではないかと考えます。専門店には『個人』で、フェス等には『家族やペットを連れて』のようなお買い物の楽しみ方にも変化が生まれています。店頭ではセリでは売れなくても〇〇では売れる。この〇〇を創造し変化に対応すべく、取り組みを始めました。買参人様と生産者様有志のご要望により、セリ日前後当日に展示即売会を開催しました。セリでは単価が付き難い多肉類やポット（鉢）のアウトレット展示即売会でしたが、高額商品のご購入や予約注文とご好評をいただきました。今年度も不定期での開催となりますが、趣向を凝らした展示会を開催してまいります。今後の開催に向け、ご出展者を募集します。販売にお困りの方や出展ご希望の方は、第三営業課までお問合せください。切花・鉢物・植木・資材などカテゴリーや生産地の県内外は問いません。

## 切花情報

県内ご出荷者様へのお願いです。セリ日二日前の土曜日（月曜セリ販売分）と火曜日（木曜セリ販売分）にご出荷をいただきますようお願い致します。当組合としましては、入荷商品相対販売率（先取り等）の更なる向上が一つの目標となっております。買参人様の先取りがセリ日前日朝8時30分頃からとなり、この時点での入荷が必須となります。また、荷受け作業及び前売り・先取り作業を円滑に進め効率化を図ることで、受注や単価の安定に繋がるかと考えています。何卒ご理解ご協力頂きますようお願い申し上げます。

第三営業課課長補佐 田淵州平

新年あけましておめでとうございます。平素は当組合を御利用いただき、誠にありがとうございます。本年もどうぞ変わらぬご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。昨年は猛暑が続き、作付け不良や生育不足など生産者様には非常に困難な年回りであったかと思われまます。その中でも当組合へのご出荷をいただくことで、品薄ながらも大きな欠品もなく販売ができましたこと、本当にありがとうございます。

昨年を振り返るに、品薄状態が比較的長く続き、高冷地から西南暖地への切り替わりもうまくできなかつたように思います。春期は沖縄産の夏小菊と奈良県産の小菊がうまく重なり買参人様にも潤沢に選んでいただくことができましたが、秋期には出荷の切れ目と出荷の遅れが同時におこり、明らかな供給不足となりました。その中で輸入商材は、品質も向上を重ね規格も変え、色々な場面で使っていただけの商材も多くご提案いただき、品薄状態の軽減につなげることができました。

切花業界を取り巻く環境は、燃料代や生産資材の高騰と物流コストの上昇など生産者さまの抱える問題及び、生活必需品の高騰による生活スタイルの変化や趣向の変化という販売店さまの抱える問題など、いくつもの不安要素はある中で、それらの問題に個々に取り組みながらお取引を続けていく、又、改善し続けていかなければなりません。

最後になりましたが、本年も出荷者様、買参人様にとってより良いサービスを提供できる市場になれるように係一同、一層取り組んで参ります。

第一営業課 坂田 三和

## 組合員のみなさまへ

組合員の登録内容に変更のある場合は、地区の役員にご相談ください。

# 植木情報 令和6年主要行事予定

## 植木情報

新年あけましておめでとうございます。平素は当組合をご愛顧いただきありがとうございます。

昨年の市況ですが、低木類は4月頃までは高単価で推移しておりましたが、9月以降は引き合いが弱まり、中高木については4月頃までは引き合いが強いわけではなかったですが、それでもハナミズキ・モミジ類・オリブなどの使い良い2mまでのモノは引き合いがありました。ただ低木同様9月以降はそうした品物ですら引き合いが弱くなり、セリで出荷頂いた品物も売り残してしまいうる厳しい状況でした。

民間・公共ともに植栽工事が減る中で、葉刈の仕事が多くなり客足も遠のくような流れになっていきます。

さらに生産資材等の価格の高騰も落ち着きを見せず、生産コストは上昇するも品物に転嫁することが難しく、生産量や在庫などにも影響がありました。

相対では、民間工事で使用される樹木の変化が顕著で、年々変わる気象状況に工事現場は対応しようとしている中、ほ場では供給が追いついていないようでした。

公共工事は大阪万博というビッグイベントが控えているものの植栽工事の話は全くと言っていいほど聞かれませんが、このように公共工事に関しても大きな物件が減少したままの状態でも大きな物件が減少したままの状態でも、低木やグラウンドカバー類の動きも鈍いままでした。

また年々減り続ける生産者数については、当組合も県内を巡回させていたことで深刻だなど実感しています。その原因としては生産資材が高騰しているにもかかわらず植木自体の単価が低迷していることや、後継者不足などの声が多く聞かれました。特に昨年の夏は猛暑が続き、9月以降に出荷される品物の生育状態に影響が大きく、例年よりも小ぶりの品物が多く、生産する労力に見合った単価が付けられず、それに伴い生産自体を辞めていく、又は生産量を減少させていくという悪循環におちいつていきます。

昨今、世界情勢が不安定な中、日本も経済状況が安定せず、生活必需品等物価の高騰が顕著で、実質賃金の減少に伴った結果、趣味・娯楽に今まで使用できていたお金から削られ、緑を楽しむ余裕のない状況にあります。大阪や東京などの都市部ではかろうじて緑化基準が設けられているため、何とか生活の中から植木等の植物がなくなることはありませんが、少し自然環境に目を向ければ、夏の異常気象など、気候の変動が今や地球規模で頻発しており、これからの自然災害を防止し回復する手立てとして、今こそ緑の効果と造園力を発揮し駆使していく必要があるのではないのでしょうか。

今後とも皆様のご支援、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

第二営業課 上坂 修也

## 令和7年主要行事予定

### 1. 行事

花き植木農協組合長表彰及び各種品評会表彰式  
第54回通常総代会 5月27日(火)  
第17回大和路花と緑のフェスティバル 10月上旬

### 2. 初市・止市

切花 1月 4日(土)・12月29日(月)  
鉢花 1月 9日(木)・12月25日(木)  
植木 1月21日(火)・12月16日(火)

### 3. 大市

春の植木大市 3月18日(火)  
中元贈答用鉢花大市 6月26日(木)  
秋の鉢花大市 11月 6日(木)  
秋の植木大市 11月18日(火)  
歳暮贈答用鉢花大市 11月27日(木)  
正月用切花材料大市 (若松等)予定 12月 2日(火)  
(オモト)予定 12月 2日(火)  
(千両)予定 12月16日(火)

### 4. 品評会

令和6年度鉢花第3回大口品評会 3月19日(水)  
令和7年度鉢花第1回大口品評会 5月13日(水)  
令和7年度鉢花第2回大口品評会 11月19日(水)  
令和7年度植木品評会 11月 1日(土)  
～11月18日(火)  
令和7年度花き植木立毛品評会(切花) 9月 1日(月)  
～10月31日(金)  
春日大社・奈良県切花品評会 予定 9月30日(火)

### 5. 仕事はじめ・おさめ

令和7年1月8日(水)・12月29日(月)

# 品評会の報告

## 品評会の報告

令和6年度奈良県花き植木品評会  
総出品点数

植木	11点
花き植木立毛 (鉢花)	8点
切花	112点
鉢花 (第一回)	28点
鉢花 (第二回)	21点

(※以下敬称略)

- 【植木品評会】  
(令和6年10月11日)
- ・農林水産省生産局長賞  
五條市 西本卓央 台杉
  - ・奈良県知事賞  
大和郡山市 三橋正和 サツキ
  - ・日本植木協会会長賞  
五條市 森田浩司 台杉
  - ・近畿花き振興協議会長賞  
大和郡山市 今西康彰 オタフク南天
  - ・奈良県造園業協同組合理事長賞  
大和郡山市 佐野正和 オタフク南天
  - ・奈良県花き植木農協組合長賞  
大和郡山市 今西康彰 サツキ
  - ・金賞  
西本卓央
  - ・銀賞  
佐野正和
  - ・銅賞  
西本洋子

- 【花き植木立毛品評会 (鉢花)】  
(令和6年10月29日)
- ・農林水産大臣賞  
明日香村 平井一広 シクラメン
  - ・近畿農政局長賞  
橿原市 吉田宗義 シクラメン
  - ・奈良県知事賞  
橿原市 脇山茂雅 シクラメン
  - ・奈良県議会議長賞  
葛城市 岡本 康宏 ポインセチア

- ・日本花き生産協会会長賞  
五條市 中野 哲 シクラメン
- ・近畿花き振興協議会長賞  
五條市 五條園芸 ハボタン
- ・奈良県花き植木農協組合長賞  
葛城市 吉村 敏樹 Gシクラメン
- ・金賞  
松井 万理子

- 【春日大社・奈良県切花品評会】  
(令和6年9月24日)
- ・農林水産大臣賞  
平群町 大西一彰
  - ・近畿農政局長賞  
平群町 城 守 小菊
  - ・奈良県知事賞  
平群町 上田 剛 小菊
  - ・春日大社宮司賞  
宇陀市 岡本 清 ダリア
  - ・華道春日流総裁賞  
葛城市 田仲清悟
  - ・春日大社萬葉植物園園長賞  
平群町 吉川友章 小菊
  - ・日本花き生産協会会長賞  
平群町 向井龍太郎
  - ・日本ばら切花協会会長賞  
下市町 梅本清之 バラ
  - ・奈良県花き植木農協同組合長賞  
平群町 姓本弘子 黄金ヒバ
  - ・奈良県切花協議会長賞  
平群町 米田竜祐 小菊
  - ・金賞  
岡本 清 米田美智子 向井花奈 岡田流翔
  - ・銀賞  
明崎好男 姓本弘子 岡田加津子 大西一彰  
上田有紗 岡田有弘 岡田雄太 森井隆司

- ・銅賞  
飯阪好子 亀井里奈子 東野トシ子  
岡本 清 梅本清嗣 吉川友章 北川晃生  
田仲雅代 西野日出男 中野富夫  
太田勝三 田仲清悟

- 【第一回鉢花大口品評会】  
(令和6年5月15日)
- ・金賞  
明日香村 平井一広 サルビア
  - ・銀賞  
橿原市 安田忠司 (2)
  - ・ケイトウ、マリーゴールド  
橿原市 吉川邦和 フアリナセア
  - ・銅賞  
橿原市 吉田宗義 ベゴニア  
橿原市 脇山茂雅 トレニア

- 【第二回鉢花大口品評会】  
(令和6年11月20日)
- ・金賞  
橿原市 吉田宗義 Gシクラメン
  - ・銀賞  
橿原市 脇山茂雅 シクラメン  
宇陀市 笹岡美喜子 パンジー
  - ・銅賞  
明日香村 平井一広 ガーデンシクラメン
  - ・天理市 辻本文敏 丸葉ハボタン  
橿原市 脇山茂雅 Gシクラメン